

富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー株式会社 環境報告書

Fujitsu Integrated Microtechnology Ltd. Environmental Report

2010



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

1. ごあいさつ



富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー株式会社

社長 門馬 秀夫

富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー(株)は、福島県会津若松市、宮城県柴田郡村田町、鹿児島県薩摩川内市と、いずれも田園地帯に囲まれ、近くには国立自然公園がある、自然豊かな素晴らしい立地条件にあります。

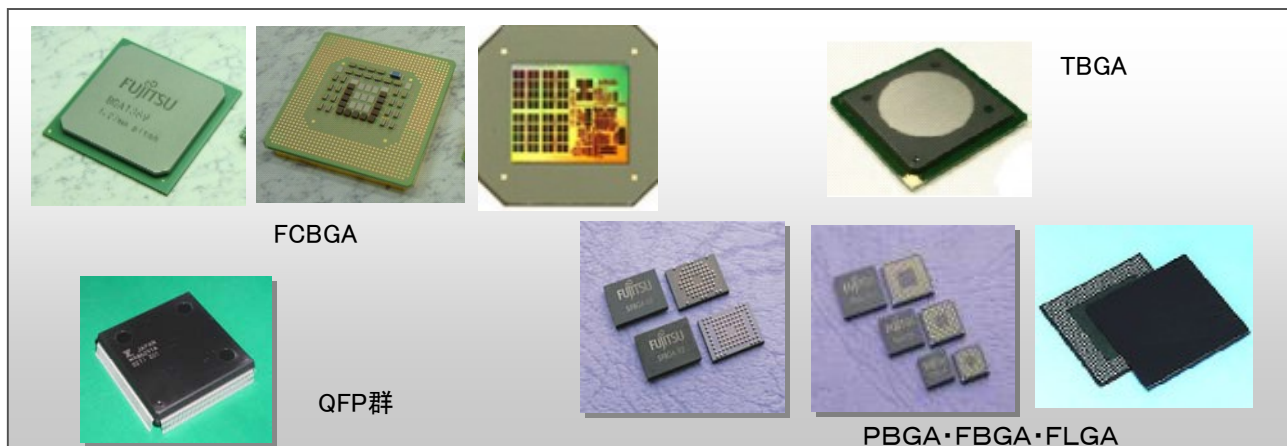
富士通グループでは、2009年に「富士通グループ生物多様性行動指針」を策定し、生物多様性保全に向けた活動の推進を掲げています。このため、当社では、この恵まれた自然環境を次世代へと受け継いでいくため、各地で生物多様性保全活動に参加し、地域社会、地球環境保全に貢献して参ります。

また、当社の環境活動の一つに、業務プロセスを継続的に改善し、環境負荷を低減していこうとする「グリーンプロセス活動」という活動があります。

2010年度は、このグリーンプロセス活動とトヨタ式生産方式などの各種、生産性向上活動と連繋させ、生産活動全てにおいて効率的に環境負荷低減していくよう推進します。

同時に、QCDSEE(品質・コスト・納期・サービス・環境・教育)における差別化を図り、環境保全に努めながら社会と共に成長・発展していくことを目標にして参ります。

2. 会社紹介



富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー(株)は、2003年10月に、富士通グループの半導体後工程子会社4社を1社4工場に統合・再編し、半導体後工程の専門会社として設立しました。ビジネスをロジックLSIの組立・テストに集中、また、富士通グループ以外の受託ビジネスも積極的に展開しています。また、2008年10月には岐阜工場の基盤ロジック製造ラインを九州工場へ集約し、国内3工場の新体制といたしました。

名称: 富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー株式会社

設立: 2003年10月1日

従業員数: 1,990名

事業内容: 電子デバイスの開発・製造および販売

■本社・会津工場 福島県会津若松市高久工業団地1番地

■宮城工場 宮城県柴田郡村田町大字村田字西ヶ丘1-1

■九州工場 鹿児島県薩摩川内市入来町副田5950番地

3. 環境活動の目標と実績

■2009年度の活動目標と結果報告

当社では環境方針、著しい環境側面などに基づき、総括的・中長期的な観点での環境保全、地域社会との協調、環境の改善を目指し以下の活動に取り組んでおります。2009年度の活動目標と活動結果は以下のとおりです。

エネルギー消費CO₂排出量・廃棄物発生量・化学物質排出量の削減等に取り組み、全ての項目で目標を達成しました。

2009年度の活動目標	活動結果	達成状況
エネルギー消費CO ₂ 排出量を2009年度末までに54,900トン-CO ₂ 以下に抑制する。	53,017トン-CO ₂	達成
廃棄物発生量を2009年度末までに982トン以下に抑制する。	727トン	達成
VOC対象物質の排出量を2009年度末までに5.9トン以下に抑制する。	4.1トン	達成
部材取引先のグリーン調達の推進 (①FJEMSレベルⅡ以上/②CMS構築率100%)	①、②とも100%	達成
業務改善による環境負荷低減 (2009年度:各地区毎の達成部門数70%以上)	各地区ごとに80%以上	達成
従業員の環境保全意識の向上、地域貢献活動の実施 (各地区ごとに年6件以上)	各地区ごとに6件以上	達成

■2010年度の活動目標

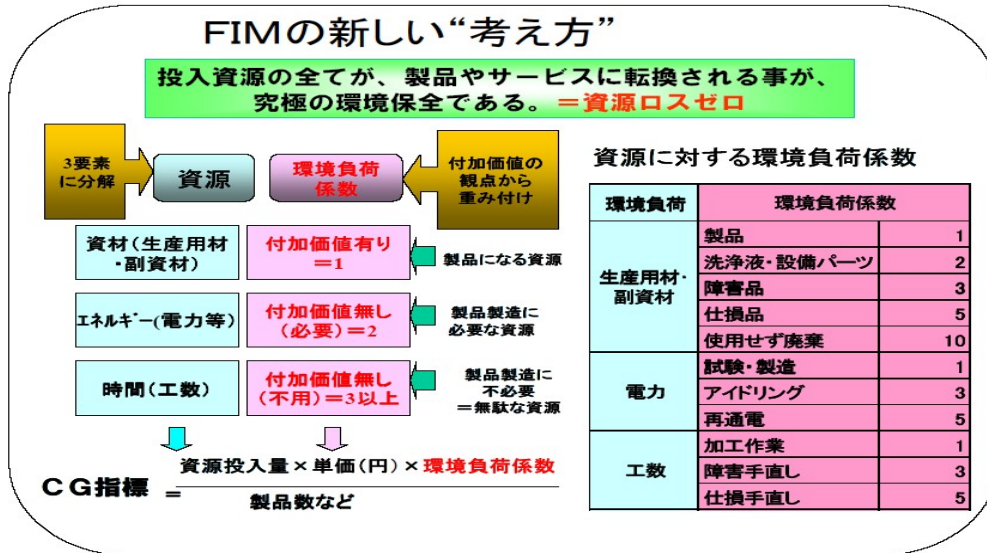
第6期富士通グループ環境行動計画に沿った目的目標の計画・推進を目指し、今年度は生物多様性保全を考慮した各工場での環境貢献活動の実施を追加しています。

2010年度の活動目標
エネルギー消費CO ₂ 排出量を2010年度末までに55,770トン-CO ₂ 以下に抑える。
廃棄物発生量を2010年度末までに795トン以下に抑える。
重点化学物質*の排出量を2010年度末までに5.35トン以下に抑える。(*宮城:IPA,九州:エタノール)
グリーン調達の推進(①CO ₂ 排出抑制/削減、②生物多様性保全の取り組み実施する取引先からの調達を推進する。)
グリーンプロセス活動により本業の環境負荷を低減する。【達成部門数:各地区毎に80%以上】
生物多様性保全に関わる保全活動(年1件以上/各地区毎) その他の環境貢献、意識啓蒙活動(年4件以上/各地区毎)

4. グリーンファクトリー

■ グリーンプロセス活動

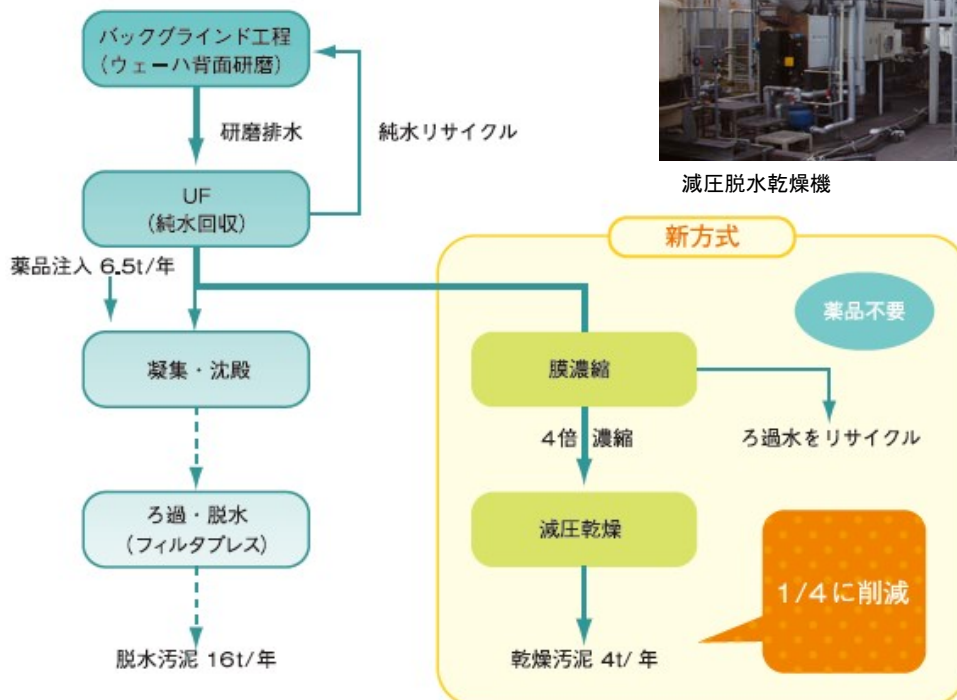
グリーンプロセス活動は、生産性向上活動とリンクし、各部門において業務プロセスを継続的に改善し、環境負荷低減することを目的としています。当社では2008年度から後工程に相応しい仕組みに見直し、間接部門を含む部門参加での環境負荷低減活動を実施しています。



■ 2009年度の主な改善事例

九州工場では、2009年4月に、組立工程で最初に行うシリコンウエハーの背面研磨(バックグラインド)工程から出る排水を、新たに導入した設備で薬品を使わずに高濃縮・乾燥処理することでシリコン汚泥を4分の1に削減しました。従来と違って、薬品を一切使用していないため、約6.5トン/年の薬品を削減することができ、環境リスク低減とコストダウンに寄与しています。またシリコン汚泥は、脱酸材として製鉄所へ有価売却する計画であり、評価を依頼中です。有価物として売却することで産業廃棄物の削減につながるだけでなく、工場全体の環境管理活動にも大いに寄与することが期待されています。

研磨排水の処理工程



バックグラインダー研磨排水新処理システム



減圧脱水乾燥機

膜濃縮設備

5. 環境社会貢献活動

各工場において地域の清掃活動を中心に、河川清掃や植林地の草刈り、工場の食堂由来の残渣で作られた有機肥料を地域小・中学校への配付する等の環境社会貢献活動を実施しました。



阿賀川・日橋川の河川清掃(会津)



阿蘇植林地の草刈りへの参加
(九州)



社内食堂残渣から作られた有機肥料の自治体等への無料配付(宮城・九州)

6. 社員への環境啓発活動

環境月間行事として、各工場で従業員に対し、環境講演会、社内・社外の環境施設見学会、などの環境啓発活動を実施しました。また、FIMでは、毎月、3工場の環境事務局が交替で社内環境情報『Eco通信』を発行し、各地区の環境情報を全社員に案内しています。



外部講師による環境講演会
演題【会津の森林について】



社外施設見学会(FIT7ロビー:宮城)



社内廃棄物担当者教育(宮城)

7. 安心・安全な工場への取り組み

環境リスク対策として、各工場で、化学薬品等の漏洩・飛散を想定した緊急事態対応訓練を実施しています。



重油・薬品の漏洩処置訓練(宮城)



重油漏洩・流出防止処置訓練(会津)



薬品・油漏洩処置訓練(九州)

8. 環境に関わる法規制の順守状況

2009年度の法規制の順守状況は、九州工場で定期騒音測定(夜間)において、法規制値(50dB)を超過しました。(測定値52dB)原因は純水装置への市水補給水流入の際の水切り音であったため、市水の流量を調整し、音の発生を抑え、再測定を実施し、法規制・自主基準値内であることを確認しました。その後、再発しないよう継続して監視を続けています。その他の法規制・自主基準値からの逸脱はありませんでした。

9. 環境会計

環境保全に関わる費用と効果を定量的に把握し、環境投資と効果を評価する「環境会計」を実施しております。

2009年度 環境会計実績表(単位:百万円)

項目	範囲	費用	効果
事業エリア内費用・効果	公害防止・地球環境保全・資源循環等	197	244
上、下流費用・効果	廃製品リサイクル、グリーン購入等	0	12
管理活動費用・効果	ISO14001、環境教育、環境広報活動等	30	2
研究開発・ソリューションビジネス費用・効果	製品への環境配慮技術の研究等	0	0
社会活動費用・効果	環境保全団体への寄付、支援等	0	0
環境損傷対応費用・効果	土壌、地下水汚染の修復等	0	0
合計		227	258

10. 環境マネジメントシステム



当社は、各工場を統合した環境マネジメントシステムを構築し、2004年9月に株式会社日本環境認証機構(JACO)による国際規格ISO14001の認証を取得しましたが、より効率的で実効性の高い環境活動の推進を目指して、富士通グループとしての一括認証に移行し、2006年3月、「富士通グループWORLD-WIDE」として、ISO14001認証を取得いたしました。

今後も日常の企業活動を通じて環境保全活動を推進し、地域社会との協調、環境の改善に努めていきます。

富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー株式会社

お問い合わせ先

本社/会津工場 総務部
〒965-8577 福島県会津若松市高久工業団地1
TEL:0242-39-7111 FAX: 0242-39-7801

発行責任者: 糸永 正明
編集責任者: 森 秀次
発行年月: 2010年9月
記載事項対象期間 2009年4月～2010年3月
報告URL: <http://edevice.fujitsu.com/eco/>

